## まもりたいからです。

## 『車に気をつけて』



夏井陵汰さん

んできました。 をわたろうとしたら、きゅうに車がつっこ の前のしんごうのところで、ぼくがどうろ 「あぶない。」一年生のときです。学校

なしい気もちになりました。 はむしして行ってしまいました。すごくか かあさんが見ていて、おこっていたけど車 ました。友だちのおかあさんと、ぼくのお になったのをたしかめてからわたったのに、 <sup>-</sup>なんでつっこんでくるの。」とびっくりし しんごうのボタンをおしてしんごうが青

ら、しんでしまっていたかもしれません。 じぶんのいのちは、じぶんでまもらないと ゾッとします。あのとき車にひかれていた いけないなあと思いました。 ぼくは、このことを思い出すと、今でも

わすれないようにしています。 青でも、車がとまったかかくにんするのを、 見てしっかりわたっています。しんごうが 今、ぼくは、あぶなくないように左右を

ていることは、スピードを出しすぎないと いうことです。 じてん車でいえから出るときに気をつけ

りしました。

を出していたじぶんがわるいんだけど、こ しちゃうので、もっと気をつけたいと思い わかったです。今でも、ついスピードを出 そうになったことがありました。 スピード 前に一回、まがりかどで、車にぶつかり

うじこでしぬ人が何年もいないそうです。 をまもっていきます。 でも、車やじてん車で、じこをおこしそう なるといいです。ぼくも、こうつうルール ういし合って、あんしんしてくらせる町に た人もいるかもしれません。みんなでちゅ ように、歩いていて、じこにあいそうになっ になった人がいるかもしれません。 ぼくの ぼくがすんでいるふじさと町は、こうつ

## 『まもろう、交通ルール』



小山羽音さん

としたことがありました。 休みの日に、自てん車にのっていて「ヒャッ」 わたしが、三年生になってすぐの春、お

「ち」も出ました。そして、とてもびっく までよけました。その時、右手をブロック むこうから走ってきたスクーターとぶつか ないと思って、カーブの所のブロックべい りそうになりました。 べいにこすってしまって、とてもいたくて ん車にのっていたら、ゆるいカーブの所で、 わたしは、スクーターとぶつかるとあぶ 家の近くの道路をいつものように、自て

「羽音、気をつけないと。あぶないよ。」と に帰って、お母さんに話すと、おどろいて、 さんが、「だいじょうぶ?」と声をかけて だったので、安心していたようでした。家 くれました。わたしが、右手をすっただけ 手をおさえていたら、スクーターのおば

思います。 いる人など、 も、車やバイクや自てん車、それに歩いて と、つよく思いました。いつでも、どこで でも、ぜったいにゆだんをしてはいけない しんばいしてくれました。 わたしは、よく知っているいつもの道路 いつも気にかけていきたいと

ねがいます。 里町です。わたしの家族は、大人が四人い うが多くありません。わたしのすんでいる かり前を向いてシートベルトをして安全を わたしは、じょしゅせきにのりながら、しっ とてもべんりなのり物なので、これからも て車も四台あります。車は安全にのると、 をまもっていたら、事このない安全なふじ トラックもあるので、気をつけたいです。 米田地くは、けいトラックやトラックが少 し通ります。時どき、スピードが出ている ふじ里町は、ほかの町にくらべて交通りょ 町の人がみんな、 おたがいに交通ルール









三浦紗樹さん

